大学機関別認証評価

自 己 評 価 書

平成２７年６月

熊本大学

目　　　　　次

Ⅰ　大学の現況及び特徴　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅲ　基準ごとの自己評価

基準１　大学の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

基準２　教育研究組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

基準３　教員及び教育支援者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

基準４　学生の受入　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33

基準５　教育内容及び方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　41

基準６　学習成果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　98

基準７　施設・設備及び学生支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124

基準８　教育の内部質保証システム　・・・・・・・・・・・・・・・・・・160

基準９　財務基盤及び管理運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・173

基準10　教育情報等の公表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・196

Ⅰ　大学の現況及び特徴

１　現況

（１）大学名　熊本大学

（２）所在地　熊本県熊本市

（３）学部等の構成

学部：文学部、教育学部、法学部、理学部、医学部、薬学部、工学部

研究科：教育学研究科、社会文化科学研究科、自然科学研究科、生命科学研究部、医学教育部、保健学教育部、薬学教育部、法曹養成研究科

研究所：発生医学研究所、パルスパワー科学研究所

専攻科：特別支援教育特別専攻科

別科：養護教諭特別別科

関連施設：大学院先導機構、イノベーション推進機構、グローバル推進機構、教養教育機構、地域創生推進機構、国際先端医学研究機構、総合情報統括センター、グローバル教育カレッジ、大学教育機能開発総合研究センター、政策創造研究教育センター、五高記念館、eラーニング推進機構、沿岸域環境科学教育研究センター、先進マグネシウム国際研究センター、生命資源研究・支援センター、エイズ学研究センター、環境安全センター、埋蔵文化財調査センター、附属図書館、保健センター

（４）学生数及び教員数（平成27年５月１日現在）

学生数：学部8,054人、大学院2,119人

専任教員数：851人

助手数：２人

２　特徴

本学は、第五高等学校等の旧制諸学校を母体として、昭和24年に発足した総合大学であり、黒髪地区、本荘地区、大江地区の３つのキャンパスに分かれている。黒髪地区に本部（熊本市中央区黒髪２丁目39番１号）を置いている。

本学の理念として、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを掲げ、教育目的、研究目的、地域貢献・国際貢献の目的、目標を定めている。理念・目的・目標に基づき、アクションプラン2010に学長の４つの約束(「教育力の強化」､「研究力のアップ」、「社会貢献の推進」､「国際化の推進」）を定めており、地域に根ざし、グローバルに展開する未来志向の研究拠点大学として改革に取り組んでいる。

教育において、大学院では、国際的通用性の高い教育プログラムやカリキュラムを整備するとともに教育の実質化をより一層推進している。学士課程では、学習成果に基づいた教育プログラムを整備するとともに創造的知性と実践力を兼ね備えた学士力を身に付けさせるためのカリキュラムの充実を図っている。また、各課程の目的と学位授与の方針に則し、明確な評価基準に基づいた学習成果の検証によって、学士課程教育及び大学院教育の質の向上を図っている。

研究においては、熊大マグネシウム合金の研究、発生医学研究、エイズ学研究など世界トップレベルの先端拠点研究を推進し、社会の期待に応えるとともに、若手研究者の育成、女性研究者支援なども先進的に進めている。平成25年度には、「研究大学強化促進事業」に採択され、国際的に卓越した先端的な研究を推進するとともに、特色ある基盤的研究の強化を図っている。

社会貢献においては、研究成果の公開、人的交流、諸施設の開放等を通して、産業、地域経済振興、教育及び文化の向上、医療・福祉の増進等に積極的に貢献するとともに、教育面における社会サービスの充実を図っている。平成26年度には、「地（知）の拠点整備事業」に採択され、地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める「地域のための大学」として、組織改革を行い地域の課題と大学の資源の効果的なマッチングによる地域の課題解決に向けた取組を進め、人材の育成を図っている。

国際化においては、グローバル推進機構を核として、グローバルな学内環境を整備して教育研究のグローバル化の基盤の確立を図っている。平成26年度には、スーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、教育力と研究力で我が国を牽引する真のグローバル大学への変革とグローバル化の先導的モデルとしての貢献を図っている。

Ⅱ　目的

１．熊本大学の理念

熊本大学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献する。

２．熊本大学の目的

（１）　教育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

（２）　研究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。

（３）　地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

３．熊本大学の目標

（１）　教育

①　一般教育の充実

一般教育の内容、方法、教育環境及び実施体制について、全学的視点から絶えざる点検・評価、見直しを行い、社会の急激な変化や諸科学の高度化に対応し得るよう、広い視野に立ち、主体的に課題を探求し、総合的に判断する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養、豊かな人間性、高い倫理観、社会的行動力を備えた人材の育成を目指す。

②　専門教育の充実

学部の専門教育においては、大学院教育との関連で教育内容を精査・整理し、学修目標を明確化するとともに、基礎的な専門学力の強化と専門知識・技術・技能の向上を図り､その専門性によって社会に貢献できる質の高い人材の育成を目指す。

③　創造性豊かな高度専門職業人の養成

大学院においては、専門領域の学術を一層深く理解させるとともに、社会人のキャリア・アップ教育を含めて、高い専門性を持つ到達目標を設定し、深い洞察力と総合的な判断力によって学術研究の新たな地平を切り開く、個性と創造性豊かな、国際社会で活躍できる高度専門職業人の養成を目指す。

④　国際化、情報化に柔軟に対応できる人材の育成

全ての教育課程において、国際的対話力や情報技術活用能力の向上を図るとともに、その教育環境を整備し、我が国の歴史や文化を踏まえながら、国際社会の多様な在り方を理解し、今日の世界が直面する課題の解決に向けて果敢に挑戦する人材の育成を目指す。

⑤　社会に開かれた教育活動の推進

本学の教育目的を踏まえ、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々が本学の教育システム並びに多様な知的資産、知的資源を活用し、生涯を通じて自己啓発を行い、自己実現ができる機会と場を提供し、社会に開かれた教育活動を積極的に推進する。

（２）　研究

①　国際的に卓越した先導的研究の推進

学術研究の中核としての役割を果たすため、適切な人的配置と財政的資源配分を行い、研究環境の整備を図るとともに、国際的な人的交流、学術連携・協力の環を広げ、世界をリードする特色ある先導的研究を推進する。

②　個性と創造性のある研究の推進

自由な発想に基づく独創的な学術研究を進展させ、真理の探究、知の継承並びに高度の知識・技術・技能の発展に寄与するとともに、適切な評価に基づいて、継続性を必要とする基礎的・基盤的研究の継承と発展を図る。

③　活力ある学際的研究の推進

生命倫理や地球環境問題等、多面的・総合的な視点からの究明や解決が必要な課題については、総合大学としての特徴を活かして、また、必要に応じて外部の関係機関と密接な連携・協力を図りながら、多様な領域を有機的に統合した研究組織を編成して、その課題の解明・解決に取り組む。

（３）　地域貢献・国際貢献

①　地域社会への貢献

地域社会からの要請を的確に把握し、研究成果の公開、人的交流、諸施設の開放等を通して、産業創成、地域経済振興、教育及び文化の向上、医療・福祉の増進等に積極的に貢献するとともに、教育面における社会サービスの充実を図り、地域に開かれた大学としての役割を果たす。

②　国際交流の推進

世界に開かれた情報拠点として、各国の大学や研究機関と学術的・文化的交流を積極的に推進するとともに、本学学生を国際社会に送り出し、留学生教育とその支援体制を充実することによって、学術文化の国際的発展に貢献する。

③　情報公開と広報の推進

大学に対する社会的要請を常に把握しつつ、本学の理念、目的、目標、入学者受入方針、教育内容、研究内容、地域貢献・国際貢献の状況等、社会が求める情報を公表するとともに、地域社会と国際社会に向けて広範な広報活動を積極的に行う。

別添資料１　学部・研究科等ごとの目的

学部：http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyo/mokuteki

大学院：http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/gaiyo/mokuteki/daigakuin